

# はにい

## 子どもの必然性

平成25年11月26日



前号の「とことこかめ」、2年生の生活科の授業です。  
実は、この時間は、おもちゃの「パワーアップをしよう」というテーマでした。

その後の授業研究会で、このねらいについて、  
「パワーアップすることが授業のねらいではなく、みんなで遊びを楽しむのが授業のねらいではないか」

「遊ぶ中で子どもの必然性が生まれて、おもちゃのパワーアップにつながるのではないか」という協議がなされ、次の授業では、進め方を変えてみました。

子どもたちが自分の作ったおもちゃで遊びを工夫できるように、テープやビニールテープ、ダンボールなどなど、新たな材料を先生が用意して、自分たちで遊びが考えられるように環境を整えました。

「今日はこの前の続きです。パワーアップしたい人はパワーアップ。もういいよ、という人はたくさん遊んでください」

「よし、競争しよう！」

教室の床にテープを張ったらスタートラインのできあがり。

「ころがすときにゴムを引っ張ったら長く転がった」

「すげ〜。〇〇の言う通りだ！」

「ゴールはここにしよう」

「黒板にぶつかったらアウトね」

自分たちでルールを作りながら、どんどん遊びを考えていきます。

「どうしてまっすぐ行かないのかな」

「あ、戻った！」

「なんで戻っちゃうのかな」

そのたびにおもちゃを改造してパワーアップ。

「勝負しよう！」



様々な材料で散らかってしまった床。

遊び終わって、子どもたちは「自分たちでやったから」と一生懸命片づけていました。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp